

1. 一般市民向けアンケート概要

○ 調査の目的（報告書 2 頁に挿入）

柏市職員及び不特定多数の市民を対象に、障害当事者及び関係者のみならず、一般の方の障害福祉に関する意識を把握することを目的として実施しました。

○ 調査期間：2020 年 1 月 15 日（水）～1 月 22 日（水）

○ 調査方法：

(1) 市内におけるグループウェアのアンケート機能（市内アンケート）

(2) インターネット（ちば電子申請サービス）による回答

○ 調査対象者：

(1) 柏市職員（障害福祉課職員を除く） 2,631 人

(2) 一般市民

○ 回収結果：

回収数：1,339 票

1. 一般市民向けアンケート

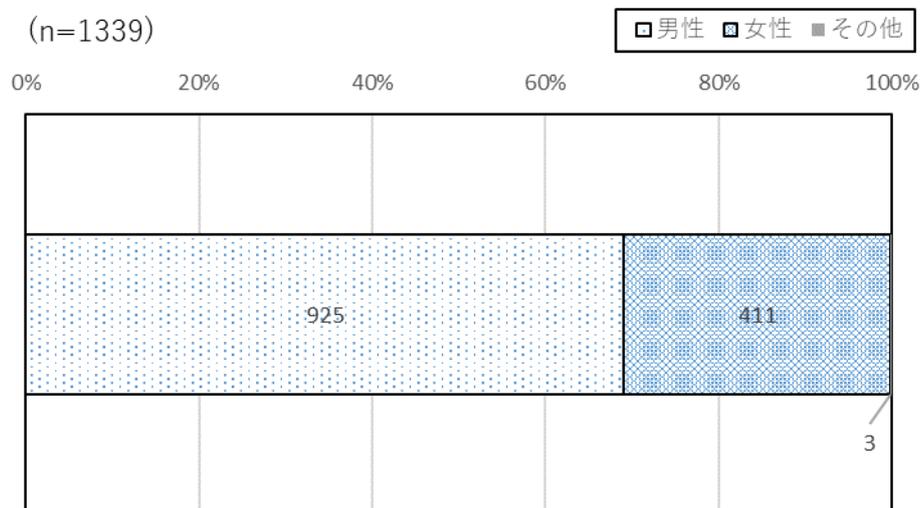
(1) 質問項目一覧

質問項目	質問設定	
	柏市職員	一般市民
問1. あなたの性別をお答えください。	○	○
問2. あなたは何歳ですか(2019年4月1日現在)	○	○
問3. あなたは保健福祉部署に配属された経験がありますか。	○	×
問4. あなたのお住まいはどこですか。	○	○
問5. あなたはヘルプマーク・ヘルプカードをご存じですか。	○	○
問6. あなたは過去1年程度の間、ヘルプマーク・ヘルプカードをお持ちの人を見たことがありますか。	○	○
問7. 障害がある人に対して声をかけたり手助けをしたりすることについて、あなたは心理的な抵抗がありますか。	○	○
問8. 「障害者」と聞いて、あなたはどのような印象を持っていますか。	○	○
問9. 過去1年程度の間、あなたは電車やバスなどの交通機関、街中等で障害がある人や困っている人を見かけたことはありますか。	○	○
問10. (問9で「ある」と答えた方にお伺いします。) 過去1年程度の間、障害がある人を見かけた時に、あなたは手助けをしたことがありますか。	○	○
問11. (問10で「ある」と答えた方にお伺いします。) 手助けをしたのはどのような気持ちからですか。(複数回答)	○	○
問12. (問10で「ない」と答えた方にお伺いします。) それはどのような気持ちからですか。(複数回答)	○	○
問13. 限られた資源や財源の中で、今後、どのような障害福祉の取組みを優先して実施すべきだと思いますか。(最も必要だと思うもの1つに○)	○	○
問14. あなたは障害者差別解消法を知っていますか。	○	○
問15. あなたは障害者に対する「合理的配慮」を知っていますか。	○	×

(2) 各質問項目の回答結果

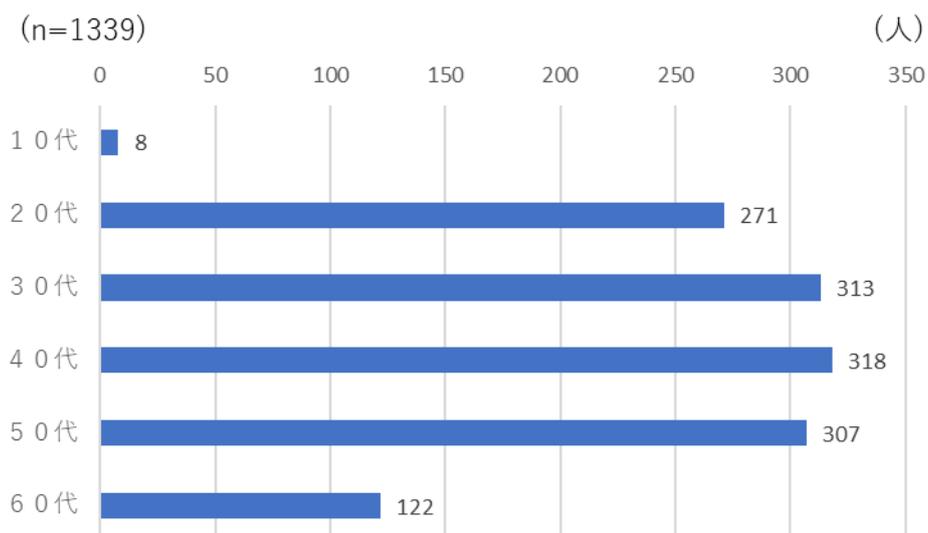
問1. あなたの性別をお答えください。

「男性」が7割程度となり、「女性」より多くなっています。



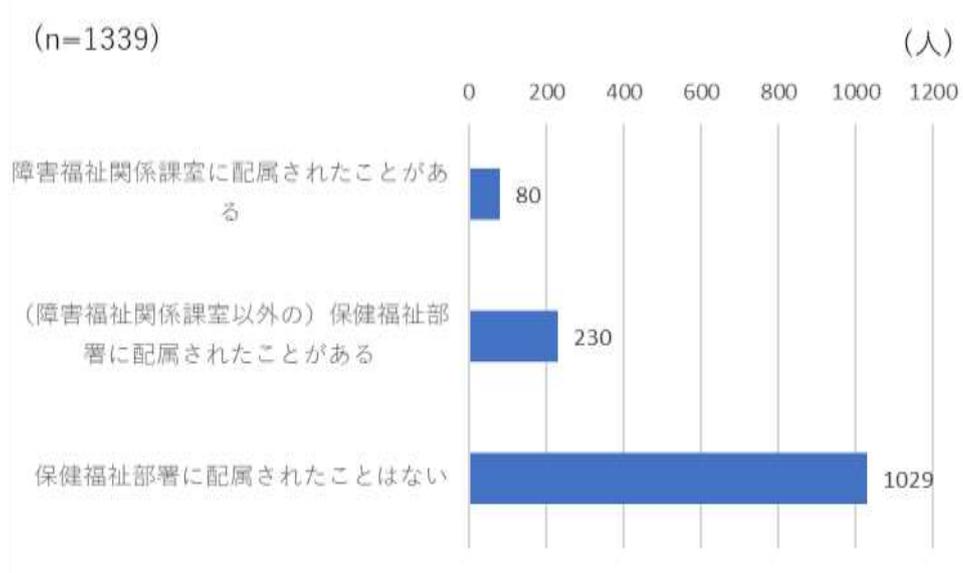
問2. あなたは何歳ですか（2019年4月1日現在）

「30代」「40代」「50代」がそれぞれ2割以上となっています。「10代」はほとんどおらず、「60代」は1割程度となっています。



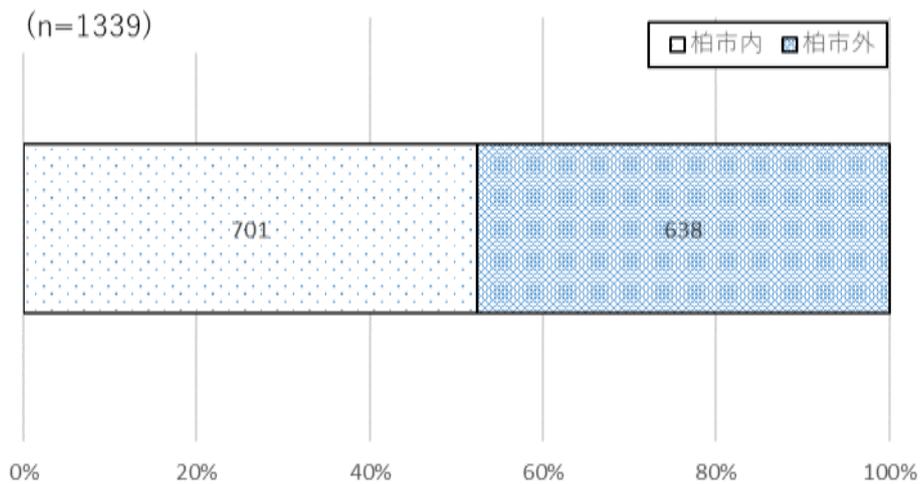
問3. あなたは保健福祉部署に配属された経験がありますか。(職員のみ)

「保健福祉部署には配属されたことはない」が8割程度で、回答者の大多数を占めています。



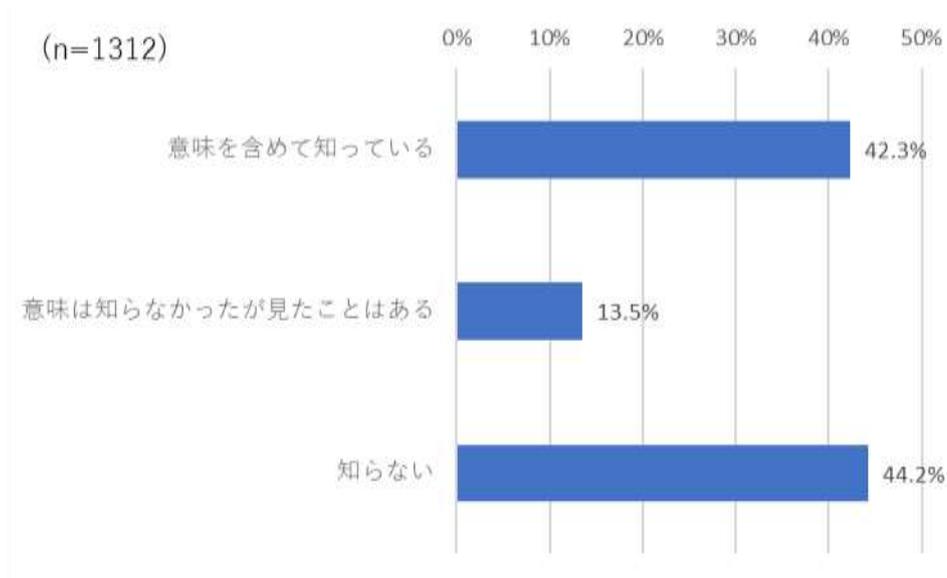
問4. あなたのお住まいはどこですか。

「柏市内」が若干多くなっていますが、「柏市外」と大きな差はありません。



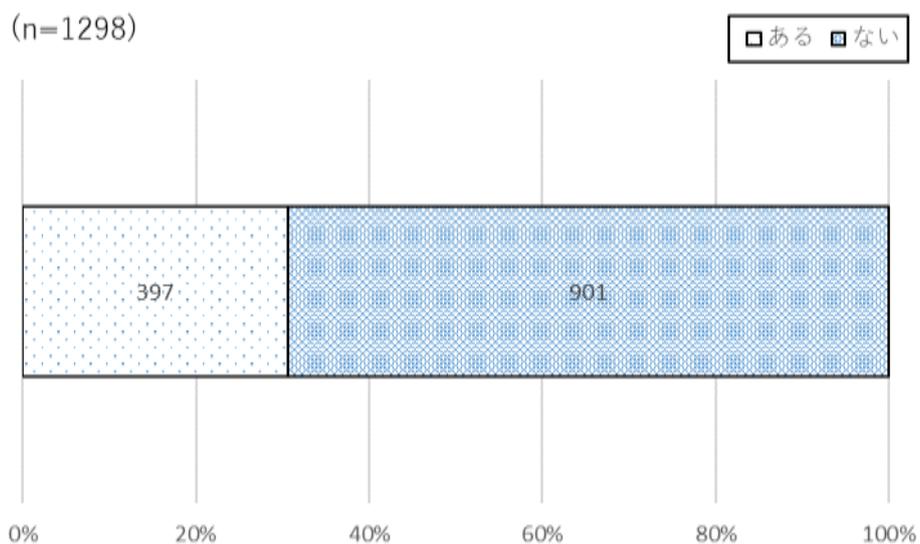
問5. あなたはヘルプマーク・ヘルプカードをご存じですか。

「意味を含めて知っている」と「意味は知らなかったが見たことはある」をあわせると6割程度と「知らない」を上回っていますが、「知らない」も4割以上となっています。



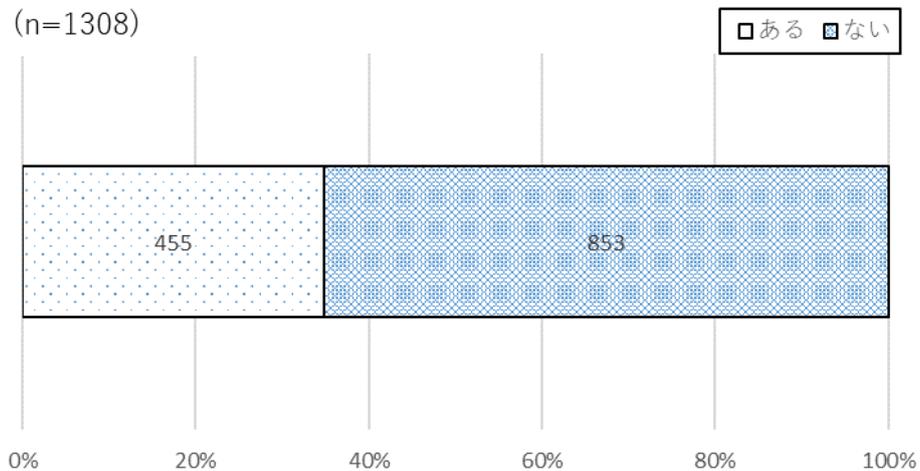
問6. あなたは過去1年程度の間、ヘルプマーク・ヘルプカードをお持ちの人を見たことがありますか。

「見たことがある」が3割程度、「見たことがない」が7割程度となっています。



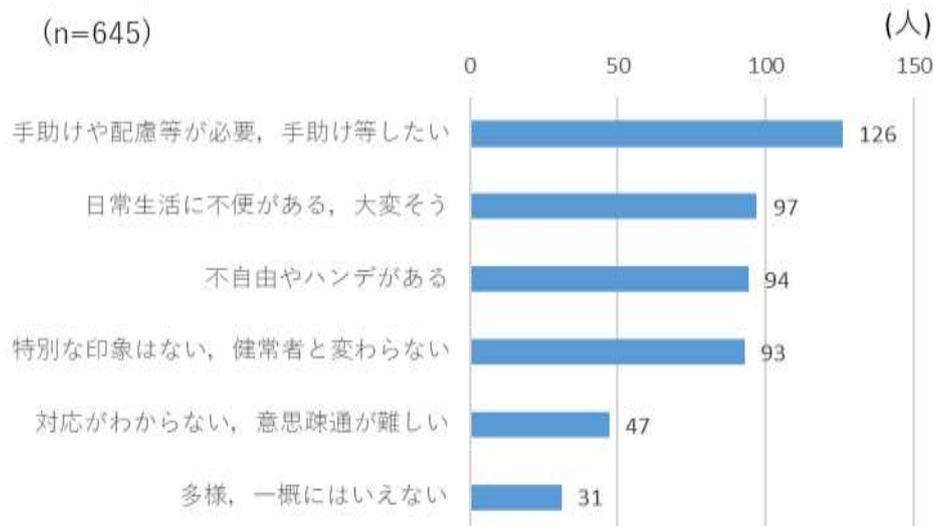
問7. 障害がある人に対して声をかけたり手助けをしたりすることについて、あなたは心理的な抵抗がありますか。

「抵抗がない」が6割以上となっており、「抵抗がある」を上回っています。



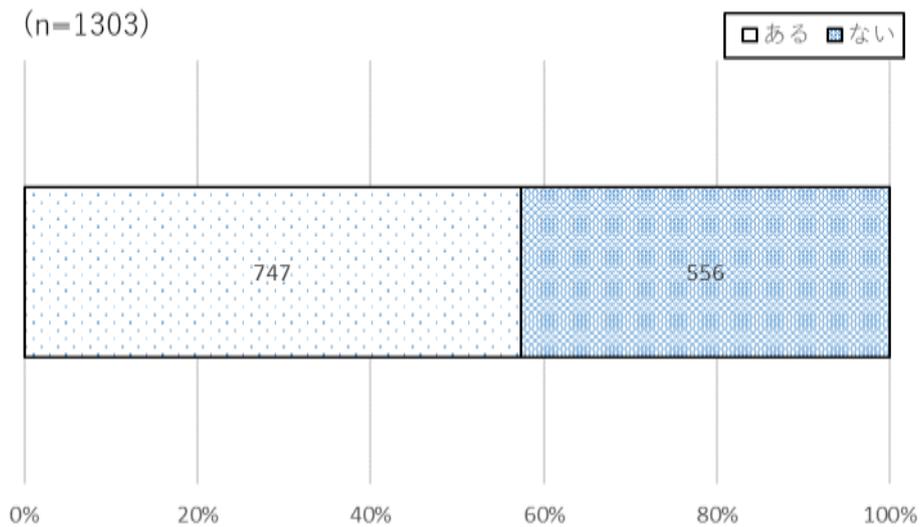
問8. 「障害者」と聞いて、あなたはどのような印象を持っていますか。(自由記載)

記載内容を分類すると、「手助けや配慮等が必要、手助け等したい」といった印象が最も多く、2割程度となっています。また、「日常生活に不便がある、大変そう」「不自由やハンデがある」といった印象も1割以上となっていますが、一方で、「特別な印象はない、健常者と変わらない」といった印象も1割以上となっています。(※各分類の内容等は後述)



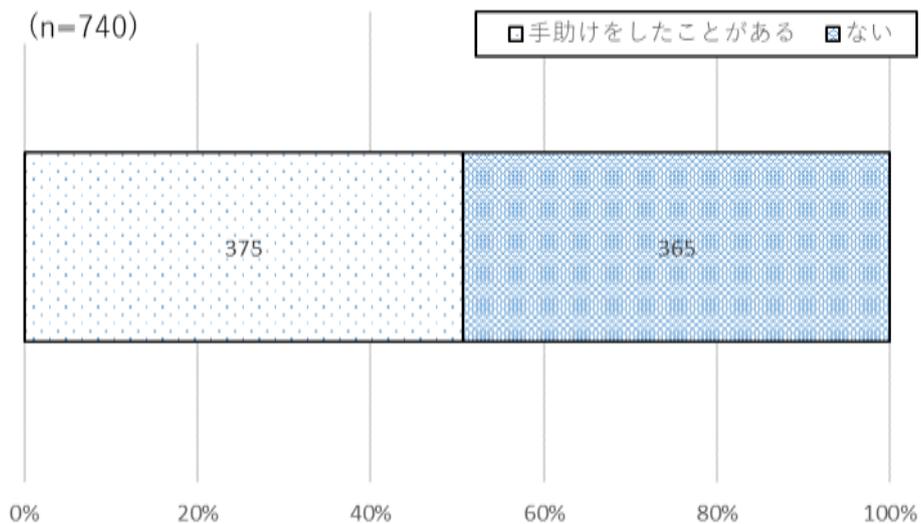
問9. 過去1年程度の間に、あなたは電車やバスなどの交通機関、街中等で障害がある人や困っている人を見かけたことはありますか。

「見かけたことがある」が6割程度となっており、「見かけたことがない」を上回っています。



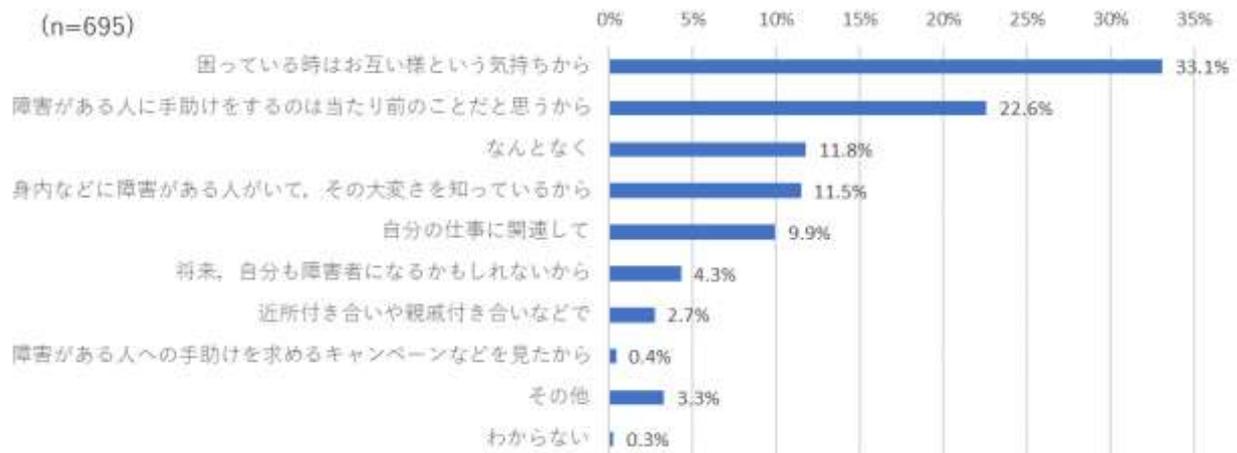
問10. (問9で「ある」と答えた方にお伺いします。) 過去1年程度の間に、障害がある人を見かけた時に、あなたは手助けをしたことがありますか。

「手助けをしたことはない」と「手助けをしたことがある」がそれぞれ半数程度となっています。



問11. (問10で「ある」と答えた方にお伺いします。) 手助けをしたのはどのような気持ちからですか。(複数回答)

「困っている時はお互い様という気持ちから」が3割以上と最も多く、ついで「障害がある人に手助けをするのは当たり前のことだと思うから」が2割程度で続いています。



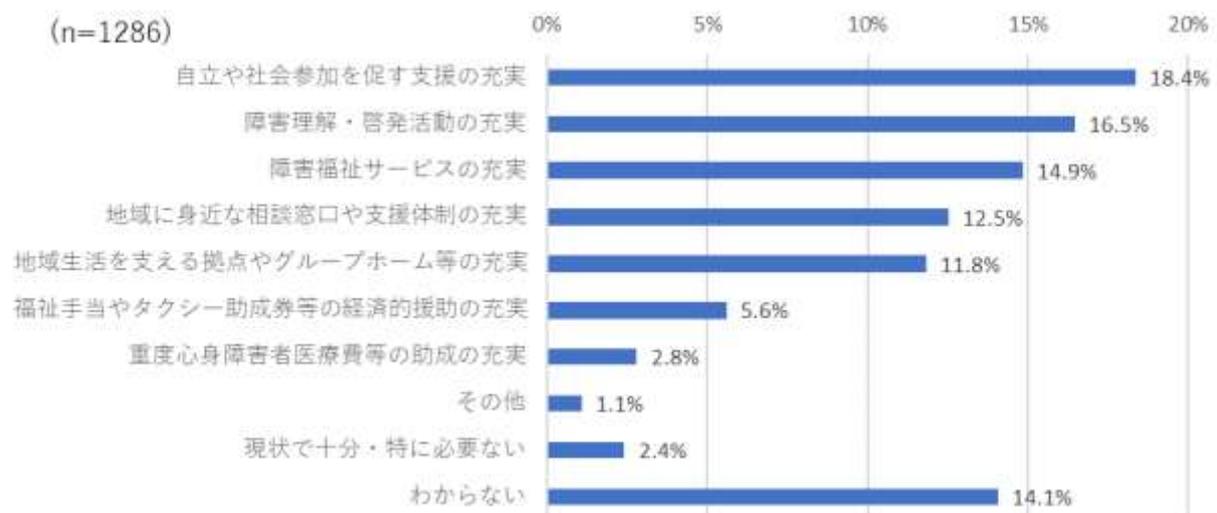
問12. (問10で「ない」と答えた方にお伺いします。) それはどのような気持ちからですか。(複数回答)

「困っている障害者を見かける機会がなかったから」が2割以上と最も多く、ついで「お節介になるような気がしたから」が2割程度、「どのように接したらよいかわからなかったから」が1割以上で続いています。



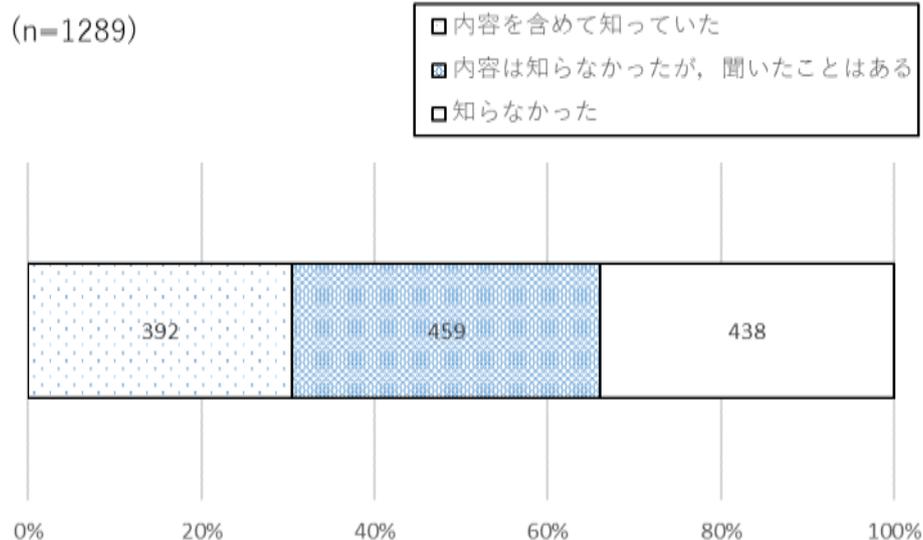
問 1 3. 限られた資源や財源の中で、今後、どのような障害福祉の取組みを優先して実施すべきだと思いますか。(最も必要だと思うもの1つに○)

「自立や社会参加を促す支援の充実」が2割程度と最も多く、ついで「障害理解・啓発活動の充実」も2割程度となっています。一方で、「福祉手当やタクシー助成券等の経済的援助の充実」や「重度心身障害者医療費等の助成の充実」は合計でも1割未満となっています。また、どのような取組みを優先して実施すべきか「わからない」と回答も1割以上となっています。



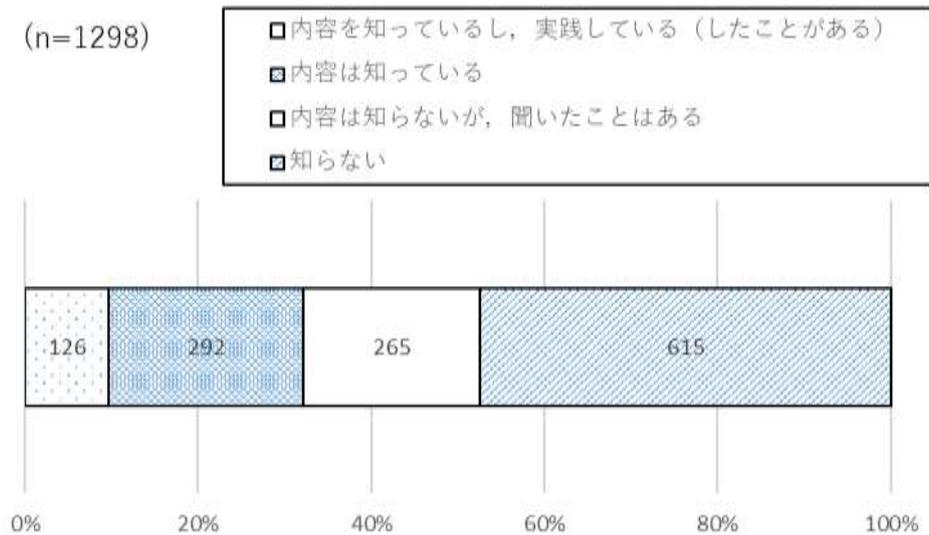
問 1 4. あなたは障害者差別解消法を知っていますか。

「内容を含めて知っていた」「内容は知らなかったが、聞いたことはある」をあわせると6割以上となっており、「知らなかった」を上回っています。



問15. あなたは障害者に対する「合理的配慮」を知っていますか。(職員のみ)

「知らない」が5割程度で、「内容を知っているし、実践している(したことがある)」「内容は知っている」「内容は知らないが、聞いたことはある」をあわせたものと同程度となっています。



(3) 自由記載の回答結果（分類別意見例）

「問8.「障害者」と聞いて、あなたはどのような印象を持っていますか」での自由記載欄にいただいた回答を分類し、代表的な意見を抜粋して概要をまとめました。

①手助けや配慮等が必要，手助け等したい（126人）

（困っている時などには）手助けが必要な方，配慮が必要な方といった意見や，そういった状況になったら手助けや配慮をしたいといった意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・自分のしたいことがひとりでできず，他の人や用具の介助が必要な人
- ・特別な偏見を持つことはせず，助けが必要な時としている時に援助をする方という印象
- ・手伝いを必要とする場合は，積極的に手助けしたい。

②日常生活に不便がある，大変そう（97人）

障害があることによって，日常生活を送るうえで不便が生じそう，苦勞していそう，大変そうといった印象を持っているという意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・日常生活が健常者に比べて大変苦勞するだろうな。
- ・私生活を送るうえで支障をきたす方
- ・日常生活が大変そうなイメージ

③不自由やハンデがある（94人）

身体的や精神的に不自由がある，ハンディキャップがある人という印象を持っているといった意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・何らかのハンディキャップを負っている人。
- ・身体的，心身的に困難なことがある。
- ・日常生活において心身共に健常な人と比べ何かしらのハンディがある

④特別な印象はない，健常者と変わらない（93人）

障害者だからといって特別な印象はない，障害は個性であり，健常者と変わらないといった意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・特に意識していない
- ・同じ人間だとしか思わない。
- ・健常者と違うところはあるが，特に意識はしていない。一つの個性として見ています。

⑤対応がわからない、意思疎通が難しい（４７人）

障害者に対して、どのように対応すればよいかわからない、手助けしたいが何ができるかわからないといった意見や、意思疎通が難しい印象を持っているとの意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・何か手伝ったりして、助けたりできることがあればと思いつつ、どう手助けすることができ
るのかわからない。
- ・時と場合によるが、どの程度助けたら良いか迷うときがある。
- ・コミュニケーションをとることが難しい印象。

⑥多様、一概にはいえない（３１人）

ひと口に「障害者」といっても、障害の種類によって多様であり、一概にはいえないといっ
た意見がみられました。

（代表的な意見）

- ・「障害者」という言葉でくくれる人などいないのでは。「健常者」と同じく様々な人がいる
と思います。
- ・障害者といっても様々な障害を持つ方がおり、多様。固定したイメージはない。
- ・個人個人で異なる印象

⑦その他の意見

上記分類のように、一定数が集まることはありませんでしたが、同趣旨の意見が 10 件程度
集まったのがみられました。

●「障害者」という表記がよくない（１６人）

- ・差別的である。呼び名を変えた方がいい。
- ・障害者と一つのくくりにしてよいのかと思う。支援の必要な方など今の時代に合った言い
方が求められると思う。

●頑張っている、努力している（１６人）

- ・健常者に比べ、より努力している人。
- ・一生懸命頑張っている人

●かわいそう（１５人）

- ・かわいそうとの思いが強い
- ・同情心を抱く

●特定の障害のイメージ（１５人）

- ・知的障害、認知症、車いす、視覚障害の印象が強い
- ・知能・精神障害をイメージする

●（社会的、災害）弱者（１４人）

- ・社会的弱者という印象を持っています。
- ・災害弱者となる。